

学校関係者評価委員からの意見及び今後の手立て

岐阜県立下呂看護専門学校

	学校関係者委員からの意見等	意見等に対する今後の手立て
II 学科運営	<ul style="list-style-type: none"> ・授業評価は細かな部分まで評価できている。その結果を次にどう活かし、どうつないでいくか聞きたい。 ・卒業生の就職先へのアンケート実施などが行われていない。病院の看護師は、新卒者に対して、学校の教育の差も見ています。実践が全くできなくても文献は読めて情報収集ができる、一方、実践はできるが分析や計画立案が苦手など、新卒者にもいろいろあるため学校教育の客観的評価の一つとして今後検討していただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業評価の結果は、教員個人では結果を踏まえて授業方法の工夫等に活かしているが、教員間での検討が不十分であり、体制としては整えられていない。今後は、教員間で課題を共有し、改善を図っていく。 ・卒業生へのアンケートは実施しているが、客観的な教育内容への評価として、卒業生の就職先へのアンケート導入を検討する。
III 入学・卒業 対策	<ul style="list-style-type: none"> ・県内の看護系大学が増え、専門学校の受験生は減少傾向だと思われる。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響により、医療職がクローズアップされ、看護職志望者の増加が見込まれる。今後は授業料が安く、寄宿舎貸与料が無料など、学校の注目度が高くなると思う。 ・他の県立専門学校と比べ、1学年の定員が30名と少人数であり、教員の目が行き届くこと、寄宿舎がある（温泉がある）等、他校にはない下呂看護専門学校の良さを伝えられると良い。 ・寄宿舎（住環境）に関するアンケート結果に「もっと自由にしてほしい」という意見があった。もともと1人部屋で育っている人たちが入学する。今後、2人部屋については検討が必要ではないか。 ・下呂市の住民でも、下呂看護専門学校を知らない人がいる。住民にもっと学校を知ってもらえると良い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大学教育とは違う専門学校における教育の特徴、当校の特徴を受験生にアピールし、学生確保に努める。 ・学生確保事業として実施している地元広報誌や有線放送の利用、下呂市広報誌でのPR活動、小・中学校の出前授業などを継続する。 ・新型コロナウイルス感染症により、今年度のオープンキャンパスは中止となるが、受験生のニーズに合わせた学生確保事業を工夫する。 ・寄宿舎については、現代学生の特徴に合わせ、数年計画で個室化に取り組む。
V 教職員の 育成	<ul style="list-style-type: none"> ・カリキュラム改正に向けて、領域担当制の複数化が十分果たされていない。教員の自己評価でも低い部分であり、自分の担当分野以外に目を向けられていないということだと思うので、今後1年半程度で整えていけるとよい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・領域担当者は主と副という形で配置はしているが実際に十分機能していないため、教育の幅を広げ、学生への教育がより充実できるよう、他領域の支援方法の明確化や、学習環境の調整を図っていく。
VI 管理運営・ 財政	<ul style="list-style-type: none"> ・生活実態調査で、ハラスメントについて調査しているが、学校の委員会にハラスメント委員会がない。学生や教員もパワハラを受けることがあるため、委員会を作ってはどうか。また、投書箱も設置してあるため、学生からの意見にどのような意見があるのか、それに対して学校はどう対応したか明確にした方がよい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ハラスメントについては、学生から訴えがあった場合は、倫理委員会で事実の確認、対応の検討など実施し、対応内容については掲示して学生へは返している。ハラスメントに特化した委員会を設置するか今後検討していく。
VII 施設設備	<ul style="list-style-type: none"> ・図書は新しい書籍が揃っていた。 ・図書室が施錠されており、学生が自由に利用できない。 ・ある程度の紛失本はやむを得ない。 ・図書管理の電子化など、時代に合わせ検討してはどうか。 ・ICT環境が整備されていない。高校までは環境が整備されている。また、就職後は現場で電子カルテの操作が求められる。在学中のICT環境整備が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・図書管理方法については図書司書の採用、管理システムの電子化などの方法があるが、予算の関係上、対応には時間を要する。そのため、今年度は、図書室が学生にとって有意義な場になるよう、開錠時間の延長や室内の環境整備などに取り組む。 ・ICT環境整備に関しては県および他の県立2校と共に早急に対策を検討する。